



7月・夏期講習の授業記録をお送りいたします。

初秋のみぎり——ご父母各位におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。



7月25日(月)より正味28日間にわたって実施された「夏期講習」は、8月31日(水)をもって滞りなく終了いたしました。この間、各々の生徒が希望する科目や分野の学力強化、あるいは弱点箇所の克服を中心に進めてまいりました。とりわけ小6・中3・高3の受験生は、約1ヶ月あまりに及んだ夏期講習の中で、受験という大目標に向け集中的に勉強を積み重ねてきた結果、着実に受験生としての自覚を持ち始めている印象を受けます。

受験生にとっては、いよいよこれからが正念場でございます。今後は第一志望校合格に向けより一層勉強に傾注して、後悔のないように頑張ってくださいよう切望いたします。

この夏期講習で身につけた学力と勉強へ向かう姿勢が今後につながっていくよう、当塾といたしましては『中学生対象 土曜無料補講』・『定期試験対策』・『北辰テスト対策』等を通し、受験へ向けたサポートを、あらん限りの熱意を込めて行ってまいりたいと存じます。

またその他の生徒は、夏期講習で取り組んだ学習内容を今後の学習へ確実ににつなげていくと共に、自宅できちんと勉強する習慣をしっかりと身につけていきましょう。



■塾からのご案内■

① 高校入試ガイダンスを実施します。

来月10月15日(土)・16日(日)に、個別指導会の各校舎にて、高校受験生のご父母を対象にした「高校入試ガイダンス」を実施いたします。こちらでは、当塾で独自に作成いたしました資料を用いながら、高校入試に関わる様々な情報や知識をお伝えいたします。

詳しいご案内は後日各ご家庭へ郵送いたします。各位多数のご出席を心よりお待ちしております。

② 中3生対象《クラス授業 理科・社会》を実施しています。

県立高校を第1志望とする中3生対象の《クラス授業 理科・社会》。9月以降も継続して来年の受験直前まで実施してまいります。県立高校を第1志望とする生徒で、まだ受講していない生徒はぜひご検討ください。なお、実施日・時間帯は校舎によって異なりますので、詳細は所属する教室までお問い合わせください。

③ 自習スペース、開放しています。

各校舎で自習スペースを設けております。特に受験生は積極的に活用してください。

学習のアドバイス

今回のテーマは社会の「公民」です。以前は中1・2で地理と歴史を並行して学習し、中3で公民を学習していましたが、学習指導要領の改訂に伴い中3の2学期から公民の勉強を始める学校が多いようです。しかし、教科書の厚さを比べると、地理と歴史の約300ページに対し、公民が約250ページです。つまりあまり変わっていません。ということは、必然的に勉強する期間が短くなり、きちんと勉強した人としない人でかなり差がついてしまいますので、しっかり対策しましょう。

「公民」とは簡単に言えば「世の中の動き」について勉強する科目ですので、公民が得意になるためには常に世の中の出来事に関心を持つことが大切です。例えば、普段からニュースや新聞で「憲法改正」という言葉を耳にしていれば、授

業で学習した時に「確かニュースで話していたあの話題だ!」というふうに、自分の経験と学習内容が一致してより理解が進みます。逆に言うと、中学生にもなれば世の中の出来事に興味を持たなければいけないということです。定期テストで時事問題が出される理由はここにあります。ですので、テストのためということではなく、中学生の常識として毎日新聞の一面に目を通すか、テレビでニュース番組を見る習慣をつけてください。

また「公民」では政治や経済の仕組みを理解しやすくするために、図や表が利用されます。例えば、衆議院と参議院の違いをまとめた表や、三権分立の仕組みを表した図、刑事裁判と民事裁判の進め方を比較した図などです。こういった図や表になっているものは、そのままの状態です。定期テストや入試に出題されることが多いので、何も見ないで書けるようになるまでノートに繰り返し練習して、丸ごと覚えてしましましょう。

最後に「公民」の用語は抽象的なものが多く覚えにくいので、一問一答のような形式ではなく、教科書の太字の用語に暗記マーカーなどで線を引いて、全体の内容を理解した上で他の用語と関連付けながら覚える方が効果的です。実践してみてください。

平成29年度入試の展望 ①

今回より、前回までの内容を踏まえながら、「平成29年度入試の展望」と題して、高校入試における有益な情報を提供していきたいと思っておりますので、ぜひご活用ください。第1回目は、県立高校の人気についてお話しさせていただきます。

入試制度が2回募集から1回募集に変更されて以降、各学校の人気は平均化してきました。チャンスが減ったことで、受験生がより慎重に学校を選ぶようになったことに加え、中学校でも偏りがちな進路指導を行って、人数を調整していることが原因のようです。ただし平成28年度入試では、近年の進学率の上昇により、上位校に人気回復の傾向が見られました。また英語・数学において高校が問題の難易度を選択できるようになりましたので、境目である所沢、川越南、所沢西などはかなり影響を受けるのではないのでしょうか。中堅・下位校においては、急激に倍率が変動することはなさそうです。

こうした動向をいち早く確認する資料として、10月と12月に行われる進路希望調査の結果に注目してください。前年度と比較することで、今年度の人気をおおよそ把握することができます。特に、募集人数が少ない専門学科や、学力レベルが拮抗している中堅校を志望する場合は要チェックです。

教室長日記



みなさん。夏休みの生活は、いかがでしたか?学習は、計画的に行えましたか?個別指導会では、これからの皆さんの学習のがんばりに対して、最大限サポートして参ります。さて、夏も終わりが近づき、疲れが出てくるころではないでしょうか?

そこで、今回は、「食事」について述べてみたいとおもいます。皆さん、特に中学3年生の皆さんの中には、国語の夏期講習用テキストの中で、「共食」についての問題を解いた人がいるかもしれません。

「共食」とは、一人ではなく、皆と一緒に食事をする事です。実は、「共食」と言うのは、人間だけがする特徴的な行動のようです。そして、「共食」の効果は、以下のように6つあるようです。

- ① おいしく楽しく食べられる
- ② 苦手なものも食べられるようになる
- ③ 絆が深まる
- ④ 食文化が継承される
- ⑤ 食事のマナーが身につく
- ⑥ 協調性が育める

「共食」というものは、とても大切なものですね…!

さて、特に中学3年生の高校受験生の皆さん、これから、さらに勉強が、大変になってくる時が出てくると思います。そんな時は、特に受験勉強に対するモチベーションを維持するために「メリ・ハリ」が大事になってくると思います。勉強も普段一人で学習する時が多いと思いますが、一人で学習できない人はもちろん一人で学習して煮詰まってしまった時は、是非、個別指導会の先生に相談してみてください。きっと、良いアドバイスを頂けるとおもいますよ。

そして、個別指導会の「自習スペース」を有意義に使ってみてください。学習を頑張っている他の生徒さんと一緒に学習することで良い刺激を受けてきっと新たな学習効果が出てくるのでは、と思います。個別指導会にとってこれからの生徒さんの目標になるような受験生活を送っててください。応援しています。

(西所沢校 北村)